

# Disclosure 2022

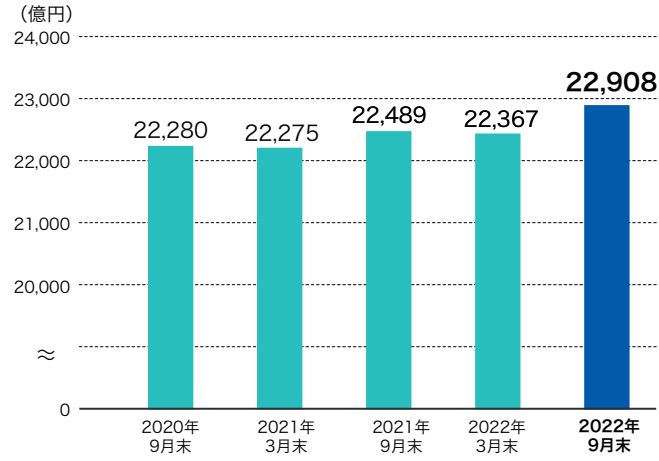
半期ディスクロージャー

2022年4月1日～2022年9月30日

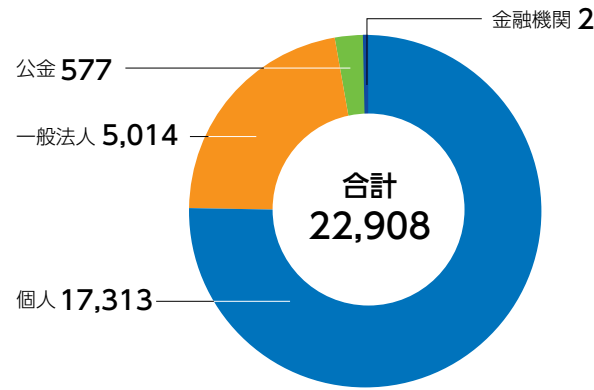
# 当金庫の2022年度上半期の業況をお知らせいたします。

## 預金積金

預金積金残高は普通預金などの増加により、前期末比540億円増加の2兆2,908億円となりました。

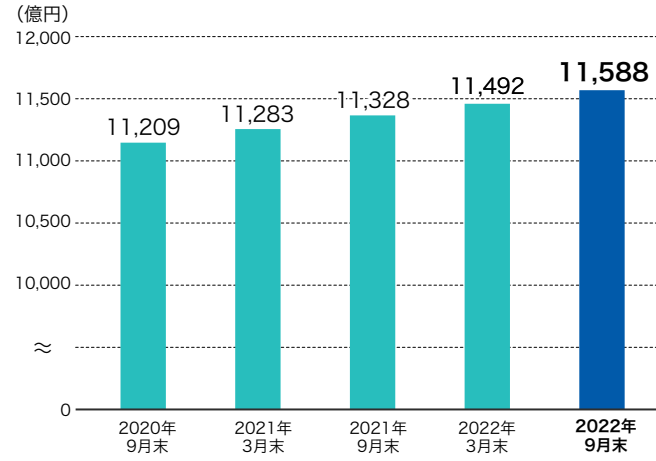


■預金者別内訳 (単位: 億円)

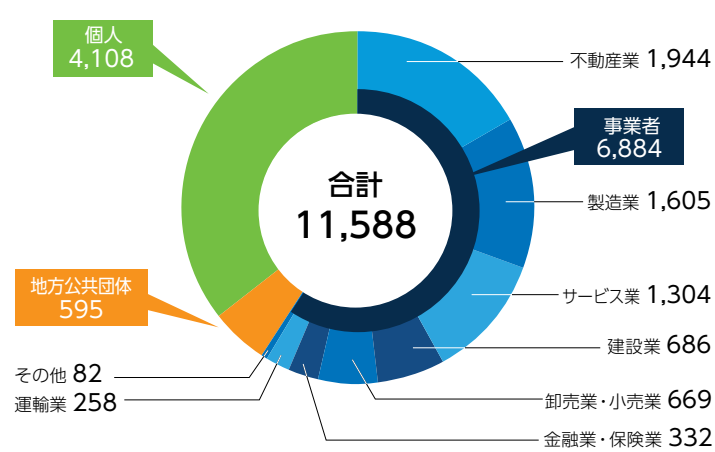


## 貸出金

貸出金残高は事業者向け、個人向け貸出とともに増加し、前期末比95億円増加の1兆1,588億円となりました。

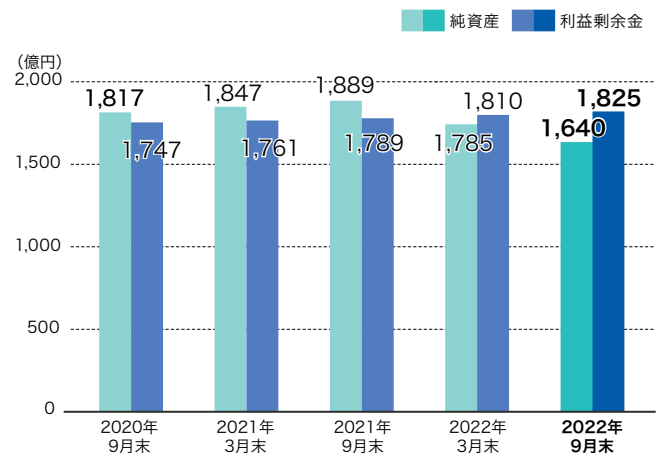


■業種別貸出金残高 (単位: 億円)



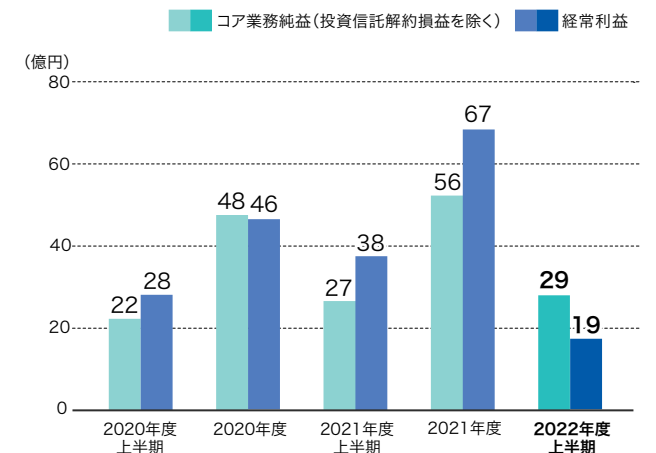
## 純資産

純資産は、海外金利の上昇などに伴うその他有価証券評価差額金の減少により、前期末比145億円減少の1,640億円となりましたが、利益剰余金は、前期末比14億円増加の1,825億円と、着実に増加しました。



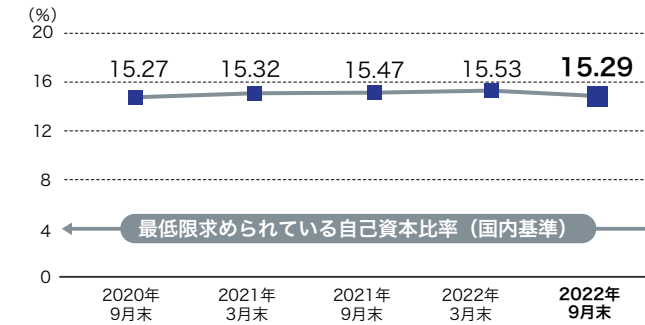
## コア業務純益 経常利益

コア業務純益(投資信託解約損益を除く)は、役員取引等利益の増加などにより、前年同期比1億円増加の29億円となりました。経常利益は、有価証券関係損益の減少などにより、前年同期比19億円減少の19億円となりました。



## 自己資本比率

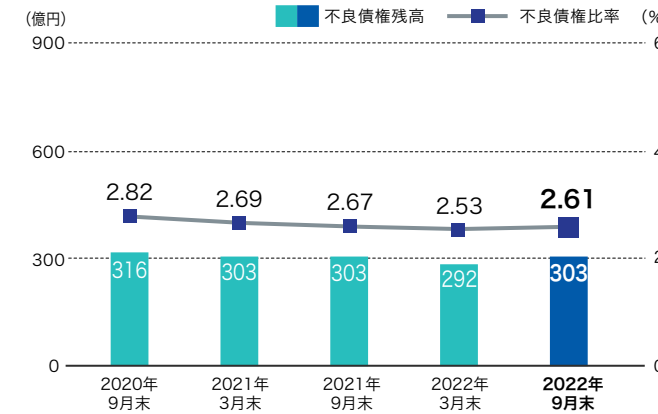
金融機関の安全性を表す代表的な指標である自己資本比率は、利益計上による自己資本の増加はありましたが、総資産の増加などの要因により、前期末比0.24ポイント低下の15.29%となりました。



(参考)自己資本比率=自己資本額÷リスクアセット

## 不良債権の状況

「事業再生・経営支援活動」を主体に、地域経済への影響を十分に考慮しつつ減少に努めましたが、金融再生法ベースの不良債権残高は前期末比11億円増加の303億円、不良債権比率は前期末比0.08ポイント上昇の2.61%となりました。



※不良債権比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 損益の状況

海外金利上昇の影響により、国債等債券関係損益など有価証券運用に係る損益が減少し、当期純利益は、前年同期比13億円減少の14億円となりましたが、役員取引等利益の増加などにより、投資信託解約損益を除いたコア業務純益は増加しました。

	2021年度上半期	2022年度上半期	増減
業務粗利益	11,268	7,353	△3,914
資金利益	10,507	8,847	△1,660
役員取引等利益	570	910	340
その他業務利益	190	△2,403	△2,594
国債等債券関係損益	162	△2,425	△2,587
経費	7,732	7,652	△80
人件費	4,908	5,071	162
物件費	2,471	2,283	△187
一般貸倒引当金繰入額	-	-	-
業務純益(※1)	3,535	△298	△3,834
臨時損益	272	2,203	1,930
不良債権処理損益	62	282	219
株式等関係損益	118	1,829	1,710
経常利益	3,807	1,903	△1,903
特別損益	△2	△2	△0
当期純利益	2,831	1,478	△1,353
実質業務純益(※2)	3,535	△298	△3,834
コア業務純益(※3)	3,373	2,126	△1,246
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	2,744	2,930	186

※1 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。  
 ※2 実質業務純益とは、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。  
 ※3 コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因(一般貸倒引当金繰入額および国債等債券関係損益)を除いたものです。

## 当金庫の概要(2022年9月末現在)

創設 昭和25年10月25日  
 総資産 2兆5,393億円  
 預金 2兆2,908億円  
 貸出金 1兆1,588億円  
 出資金 12億1,900万円  
 自己資本比率 15.29%(単体)  
 店舗数 78店舗(うち出張所1カ所、インターネット支店1店舗)  
 駐在員事務所 1カ所(バンコク)  
 店舗外ATMコーナー 55カ所(共同ATMコーナー含む)  
 役員数 1,275人  
 本店所在地 安城市御幸本町15番1号

## 基本方針

中小企業並びに国民大衆の地域金融機関として  
地域経済振興のため貢献する。

## JCR格付

**A+** へきしんは、(株)日本格付研究所(JCR)より、  
長期発行体格付として、17年連続で  
「A+」の評価を得ています。

令和3年12月取得  
 ※へきしんの「格付事由」については、JCRホームページ  
<https://www.jcr.co.jp>をご覧ください。

■本資料に掲載している計数は、特に表示のない限り、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。  
 ■本資料に掲載している計数については、会計監査人の監査を受けていません。

## トピックス (2022年4月1日~9月30日)

## TCFD提言への賛同と情報開示

当金庫は、持続可能な社会の実現に向け、環境や社会に配慮した活動に取り組んでまいりました。

4月25日に、さらなる取り組みとしてTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同を表明し、5月20日に情報を開示しました。

金庫をあげて気候変動対応へ積極的に取り組むとともに、TCFD提言で推奨される気候関連財務情報の充実を図ってまいります。

TCFDの開示内容は  
こちらから



<https://www.hekishin.jp/torikumi/>



## 第72期 通常総代会を開催

新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度、一昨年度は総代会をオンライン開催しましたが、本年6月20日、3年ぶりに総代の皆さまにお集まりいただき総代会を開催しました。



## ファンドラップ「へきしんゴールナビ」の提供開始

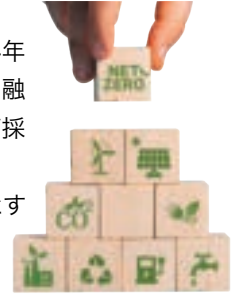
9月5日より、お客さまのさまざまな資産運用ニーズにお応えするため、ニッセイアセットマネジメント株式会社を投資一任業者としたファンドラップ(投資一任サービス)「へきしんゴールナビ」の取り扱いを開始しました。



## 環境省が実施する「令和4年度ESG地域金融促進事業」の支援先に採択

7月11日に、環境省が実施する「令和4年度ESG地域金融促進事業」の支援先金融機関に全国8件のひとつとして当金庫が採択されました。

本事業を通じて、自動車関連をはじめとする中小事業者のカーボンニュートラルに向けた支援を強化してまいります。



## 名古屋商工会議所との初の連携事業「発注企業を招いての個別商談会」を開催

9月14日と21日の2日間、名古屋商工会議所が単独の金融機関と連携する初の商談会を開催しました。名古屋市内に拠点を置くスーパーや商社、メーカー等さまざまな分野の発注企業10社を招き、当金庫のお取引先及び名商会員企業83社(商談数97件)が商談に参加しました。

当金庫は、商談会等の開催を通じて、お客さまの新たなビジネス展開を応援してまいります。



## 「地球にやさしいリフォームプラン」の取扱開始

4月26日より、居住用住宅のエコに関連した設備(太陽光発電、家庭用蓄電池など)の購入・設置・修繕資金や、リフォームにご利用いただける融資商品の取り扱いを開始しました。

当金庫は、商品を通じてお客さまのSDGsへの取り組みを支えてまいります。

